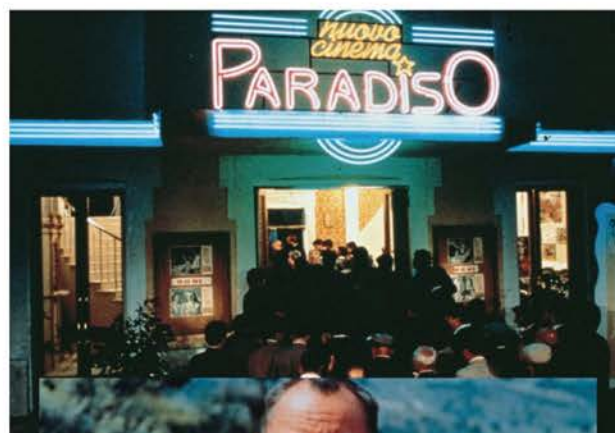


『ニュー・シネマ・パラダイス<完全オリジナル版>』

オノ セイゲン氏による極上リマスタリング音源で
日本初、劇場上映決定!

セイゲン氏と、批評家・小沼純一氏によるトーク付き回あり



上映日程 **11/23**(水・祝)・**24**(木)・**25**(金)

※ゲストトークは23(水・祝) 13:20の回終映後

会場:池袋・新文芸坐

指定席券は上映1週間前9:00よりオンライン・窓口で販売

(オンラインでの販売は上映の30分前まで。以降の席状況はお問い合わせください)

<https://www.shin-bungeiza.com/>



劇場情報

E・モリコーネが書き下ろしたそのままの
「完全オリジナル版」174分

映画史に残る珠玉の1作が 音声リマスタリングで あざやかに蘇る!

アカデミー賞外国語映画賞、カンヌ国際映画祭審査員グランプリ、ゴールデン・グローブ賞 外国語映画賞など数多くの映画賞を受賞し、世界を感動と涙で包み込んだ珠玉の名作『ニュー・シネマ・パラダイス』。先日、4Kレストア・インターナショナル版が日本初UHD(Ultra HD Blu-ray)化され2022年9月9日にリリースされました。このリリースに際してインターナショナル版・完全オリジナル版(HDデジタル・レストア版マスター)の2バージョン共に、世界的エンジニアオノセイゲン氏による音声リマスタリングを敢行。



UHD/Blu-ray
発売中

ミュージシャンは、174分の[完全オリジナル版]必聴です! なぜなら、トルナトーレ監督のコメンタリーにもあるようにエンニオ・モリコーネ本人が、ストップウォッチで各シーンのタイムを計り、音楽の移り変わりや映像と音のテンポの一致など必要なことをメモして「オリジナル楽曲を書き下ろしたそのまま」、オーケストレーションの繊細な部分全てが聴けるのは、この[完全オリジナル版]です。映像はHDマスター(ほぼ2K)ですが、パナソニックのUHD/Blu-rayプレーヤーで4Kアップコンバート上映です! —オノセイゲン

—「完全オリジナル版」が上映される—

今回は音が違う。オノセイゲンが サウンドを修正。そんなに強調すべきことか、と言うなかれ。劇場公開版=インターナショナル版で耳にはいつてきたエンニオ・モリコーネの音楽、メロディはいい、いいのだが、もごもごしている印象が拭いきれなかった。たとえば、ポスターになっている「トトとアルフレード」のテーマ。あそこでひびく低音の弦、短い、アクセント、でもやわらかい音色。それがはっきりと分離して、わかる。何度かあらわるテーマの、そのたびごとのオーケストレーションも。モリコーネ自身が指揮するコンサートでオーケストラはかなりの規模だが、たぶん、サウンドトラックのためには小編成でとっていたんだろうというのわかる。

—小沼純一 intoxicate vol.160(10/10発行号)より